

MDPRO ミニコラム：平成 30 年度予算 各省の医療分野に対する概算要求

8 月下旬、各省から平成 30 年度予算の概算要求が出されました。ここでは、厚生労働省、経済産業省から出されている概算要求に対し、医療分野に関する部分(表 1 参照)について考察してみたいと思います。

厚生労働省の戦略的重点要求のひとつとして、『質の高い効率的な保健・医療・介護の提供の推進』が挙げられています。この中でも今年度の予算から大幅に増額されているのが、政府が標榜する Society 5.0 を実現する上で重要な項目となる『データヘルス改革の推進』です。ビッグデータの活用などを含む医療 ICT の整備を目的としています。また、ゲノム医療や AI に関する研究開発費として『医療分野等の研究開発の推進』、『がん・肝炎・難病対策』の項目で要求額が増額されています。

経済産業省の管轄では、伸び率としては大きくありませんが、金額としては、『地域中核企業・中小企業等連携支援事業』の予算が多く要求されています。内容的には新規事業創出とものづくり・サービスが中心となっており、目的自体は『医工連携事業化推進事業』や厚生労働省が計上している『医療系ベンチャーの振興』とも近く、医療分野での新規事業促進の狙いが色濃く反映されています。

【表 1】 厚生労働省・経済産業省 平成 30 年度概算要求における医療分野関連項目

単位(億円)

管轄 範囲	詳細項目	平成30年度 要求・要望額	平成29年度 予算額	増減額	増減率
厚生労働省 戦略的重点要求より 医療機器関連を抜粋	データヘルス改革の推進	92	10	82	820.0%
	医療系ベンチャーの振興	9.4	6.2	3.2	51.6%
	医療分野等の研究開発の推進	661	547	114	20.8%
	保健医療分野におけるAI開発の加速	0.03	-	新規	
	がん・肝炎・難病対策	153	98	55	56.1%
経済産業省 ヘルスケア関連	医工連携事業化推進事業	34.5	34.5	±0	0.0%
	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	48	43.8	4.2	9.6%
	国際ヘルスケア拠点構築促進事業	6.5	-	新規	
	課題解決型福祉用具実用化開発支援事業	1	1	±0	0.0%
	ロボット介護機器開発・標準化事業	11	-	新規	
	健康寿命延伸産業創出推進事業	7.1	7.1	±0	0.0%
	健康・医療情報を活用した行動変容促進事業	8.6	6	2.6	43.3%
	再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	40	24.5	15.5	63.3%
	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	70.3	53.1	17.2	32.4%
	地域中核企業・中小企業等連携支援事業	178	155	23	14.8%

<出典>

厚生労働省 HP: <http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/18syokan/dl/01-01.pdf>

経済産業省 HP: <http://www.chubu.meti.go.jp/b23healthcare/170901/pdf/2018-gaisan-healthcare.pdf>

以上のように、医療分野に対する期待の度合いが来年度予算の概算要求からも読み取ることができます。今後最終的な予算額が確定した際にどの項目の予算がどの程度変更されたか、確認・考察していきたいと思います。